

鈴木嘉吉建築史論集

古代寺院僧房の研究

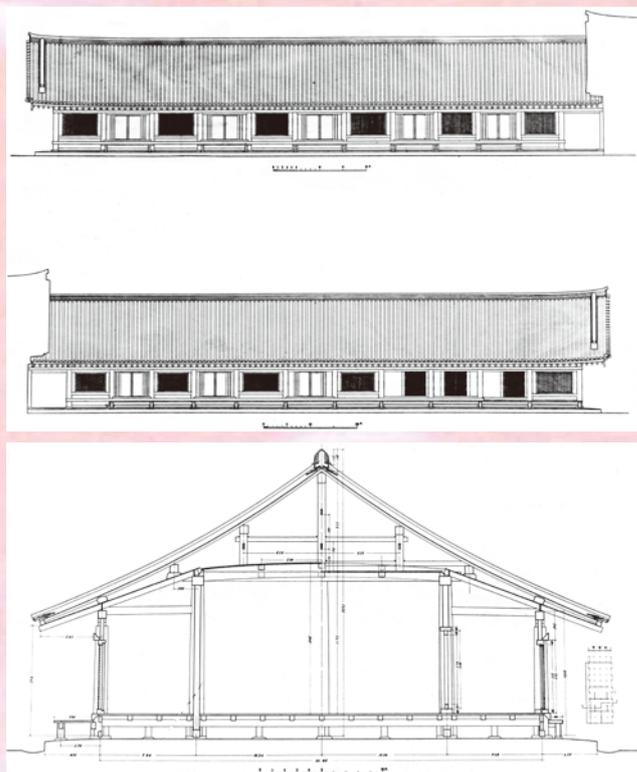
鈴木嘉吉（元奈良文化財研究所長）著

本体価格二五、〇〇〇円＋税

B5判上製函入 本文四二〇頁 口絵一六頁 図面九五点 挿図五六点 ISBN 978-4-8055-0762-9 C3052

日本古代仏教建築史研究における泰斗、

鈴木嘉吉博士の初の論集（全二巻）の第一冊



法隆寺東室修理後現状図

本巻は寺院における諸行法や参籠を行うための僧の住居である僧房に研究対象をしぼり、元興寺極楽坊本堂・禅室、法隆寺聖霊院・東室、唐招提寺礼堂、東大寺二月堂、薬師寺僧房など、国宝・重文の名刹の解体修理に実地に携わった得難い経験から、様々に変容した諸堂の遺構を考古学的・建築史的に当初の形態に復原し、同時に多くの図面と図版を掲げて新たな知見や発見を加えながら、徹底した古建築の検視を実施することで、後世、寝殿造や書院造に発展する日本建築の大きな筋道とともに重要な、当時、その形態の多くが不明であった、古代の住宅の実体を解明した記念碑的業績である。

お取り扱いは

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

鈴木嘉吉建築史論集

古代寺院僧房の研究

鈴木嘉吉 著

本体価格25,000円+税

B5判上製函入 本文420頁 口絵16頁 図面95点 挿図56点

ISBN 978-4-8055-0762-9 C3052

目次

遺構の復原を主とした

奈良時代寺院僧房の研究

序言

第一章 元興寺僧房の復原的考察

一 元興寺極楽坊

二 復原結果の概要

三 元興寺の伽藍

第二章 旧元興寺僧房構造の復原

一 構造の復原資料

二 構造の復原

第三章 旧元興寺僧房間取及び造作の復原

一 間取及び造作の復原資料

二 造作の復原

三 間取の復原

第四章 元興寺極楽坊禅室平面の復原

一 修理前に於ける禅室の状態

二 禅室間取の復原資料

三 禅室間取の復原

第五章 法隆寺東室の復原的考察

一 概説

二 構造の復原

三 間取及び造作の復原資料

四 間取の復原的考察

第六章 現存するその他の僧房建築

一 法隆寺西室

二 唐招提寺東室(礼堂)

三 東大寺二月堂参籠所

四 法隆寺妻室

第七章 遺跡・古記録等から知られる僧房の配置と平面

一 東大寺三門僧房の平面構成

二 東大寺戒壇院の僧房

三 興福寺三門僧房

四 その他の諸寺の僧房

五 「資財帳」等に見る僧房の規模

総括

一 僧房の配置

二 僧房の規模と構成

三 奈良時代僧房の間取と構造

四 奈良時代僧房の変化

南都古寺の僧房建築

元興寺極楽坊本堂(国宝)

元興寺極楽坊禅室(国宝)

法隆寺聖霊院(国宝)

法隆寺東室(国宝)

法隆寺妻室(重要文化財)

法隆寺三経院及び西室(国宝)

唐招提寺礼堂(重要文化財)

東大寺二月堂参籠所(重要文化財)

薬師寺僧房(遺跡)

僧房概説

僧房の生活

二月堂の付属建物/古代寺院の居住施設/廃物利用の古材から

/僧房の規模/僧房の構成/僧房の間取り/住まいの特色/内

部の生活/僧房の変化

古代の僧房とその発展

古代の僧房/配置と規模/間取りと構造/僧房の生活/間取り

の変化と転用

僧房と経蔵

図版リスト/あとがき

【著者略歴】

鈴木嘉吉(すずき・かきち)

一九二八年 東京生まれ

一九五二年 東京大学工学部建築学科卒業

奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部長

文化庁文化財保護部建造物課長 同文化財監査官

奈良国立文化財研究所長

(財)文化財建造物保存技術協会理事

【主要著書】

『奈良時代僧房の研究』

『日本古寺美術全集』五「興福寺と元興寺」(共著)

『日本の美術』六五「上代の寺院建築」

『奈良の寺』二「法隆寺西院伽藍と西院諸堂」

『不滅の建築』(共著)

『大和の古寺』三「元興寺極楽坊・般若寺・十輪院」他

本書をお薦めする方々

日本建築史、住宅建築史、日本仏教史の研究者・研究室/
博物館・郷土資料館・学芸員/各都道府県・市町村教育委
員会/宮大工・社寺建設業関係者/寺院関係機関・関係者
/大学・公共図書館など

続刊

2016年9月刊行予定

鈴木嘉吉建築史論集

古代寺院建築の研究

鈴木嘉吉 著

本体予価25,000円+税

B5判上製函入 本文380頁 口絵8頁 挿図80点(予定)

ISBN 978-4-8055-0763-6 C3052